

# ちょっと拝見！ MOKA の職場



趣味のブラジリアン柔術



事務作業をする様子



工事現場の様子

## 仕事内容を教えてください

当社は芳賀地区の公共工事をメインとして、土木と建築を主に担っている会社です。私は当社で働き始めてまだ1年半ほどですが、経営者として会社の5年後、10年後を考え、事務や総務など全ての業務と一緒に勉強させてもらっています。

## 入社のきっかけは何でしたか？

海外勤務が長かった前職の経験から、経営者になり地方創生を通じて国力の向上を実現したいと思ったのがきっかけです。MBA取得で知った経営者になる手法「サーチファンド<sup>※</sup>」を利用し、投資企業からの支援をいただいた事で当社の取締役として着任しました。

## やりがいは何ですか？

直接的に感謝される業種ではないですが、地域の方たちや子どもたちが私たちが整備した道路を使用し、安全に通行している様子を見ると、喜びややりがいを感じます。

総合建設 増山工業株式会社  
取締役 専務

きはら かずなり  
木原 一成さん (43歳)

地域を活性化し  
日本の国力向上に貢献したい



## 苦労したことはありますか？

前職を辞めての長期の単身赴任となったため、さまざまな調整や家族の理解を得ることが大変でした。見知らぬ土地で受け入れてもらえるかも不安でしたが、会社の方や協会の方々が温かく受け入れて、歓迎していただいたことは心の救いとなりました。

## 趣味はありますか？

真岡に来てからブラジリアン柔術をはじめました。もともと長く携わっていた武道を続けたいという思いと、友人の勧めがきっかけでした。身体と頭脳を使うスポーツなのでとても楽しいです。

## 今後の目標を教えてください

今後の技術革新に適応しながら、安価でいいものを提供できるように会社を盛り上げ、いずれは地域や日本を活性化させていきたいと思っています。

<sup>※</sup>経営者志望の個人が、自ら中小企業を探し、投資家からの支援を受けてM&Aを通じて経営権を取得し、企業価値の向上を目指す仕組み

## 会社プロフィール



総合建設 増山工業 (株)

【所在】  
西郷 2235  
【創業開始】  
昭和 32 年 4 月  
会社 HP



増山工業は昭和 32 年に創業開始以来、真岡市に拠点を置き、芳賀地区の公共工事を中心とした建設業を展開しています。便利で豊かな、安心して暮らせる街づくり、地域の皆さまの暮らしを支えています。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ  
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp



## あの日あそこ

第 435 回



つかだ ひろし  
塚田 浩史さん  
(田町在住・88歳)



アメリカ社会に  
溶け込んで

私は昭和 12 年、真岡で、8 人きょうだいの 4 番目として生まれました。高校時代までを真岡で過ごし、卒業後は早稲田大学で政治や経済を学びました。その後会社で出会った妻と結婚し、3 人の子どもにも恵まれました。

昭和 61 年、49 歳の時、新たに系列に加わった会社の社長として、アメリカのペンシルベニア州で家族と共に 6 年間生活することになりました。現地では大変歓迎され、アメリカだけでなくヨーロッパの国にも足を運んで仕事をしました。私生活でもたくさんのパー



▲就任時の歓迎式

ティーや食事会に参加したり、ドライブに行ったり、子どもたちも現地の学校に通ったりと、アメリカの社会に溶け込み、現地を肌で感じ

## 消費生活センターメモ No.507

子どものオンラインゲーム課金に注意！  
～保護者の管理責任が問われます～



<事例> 親のスマホを小学生の子どもに使わせていた。無料の範囲でゲームをしていると思ったら、クレジットカード会社から高額な請求があった。以前入力したカード情報が端末に記録されていたため、課金していたことが分かった。返金してほしい。

### 未成年者取消が難しい場合がある

民法では、未成年者が保護者の同意なく契約した場合は取り消すことができます。ただし、子どもが保護者に無断で、保護者のアカウントでログインしたスマホやタブレット端末で課金した場合は、保護者がゲームを行ったとみなされ、未成年者取消が難しい場合があります。日頃から、子どもと一緒にゲーム課金のルールを決めることが大切です。

る生活をする事ができました。

アメリカで過ごした新しい家は、地下室のあるとても大きな家ですが、玄関には靴箱がなく、不思議に思っていました。1 カ月ほどしてから、家の一番奥、ベッドルームの隣のクローゼットに、100 足も入る靴箱を見つけ驚きました。アメリカでは、靴を脱ぐのは玄関ではなくベッドルームだったのです。

そんなアメリカでの生活の様子を、友人からの依頼で、栃木新聞で「米国だより」として掲載していました。4 年間掲載を続け、後には『大きな島国・アメリカ 現地からの報告』として本を出版することもできました。

退職後には、平成 20 年から 16 年間、真岡市の監査委員を務めました。官と民の違いを知りたくて引き受けた監査委員でしたが、旭日単光章を授かり、大変光栄な思いです。



▲旭日単光章伝達式、市長公室にて

これからも、毎日楽しい散歩を続けながら、健康に、日々を大切に過ごしたいと思っています。

## トラブル回避ポイント

①保護者や祖父母のスマホ等で遊ばせる場合  
保護者等のアカウントを使用させない

アカウントにログインした状態で使用すると、パスワードや決済時の設定変更ができてしまいます。

②フィルタリングをかけ、ペアレンタルコントロール機能(子どもの利用状況を管理する)を利用する

子どもにスマホ等を持たせる際は、子ども専用のアカウントを作り、保護者のアカウントからアプリのダウンロードや課金を承認管理できる「ペアレンタルコントロール機能」を利用しましょう。

③キャリア決済の上限額を低く設定するか  
利用停止する

④端末に登録したクレジットカード情報は  
その都度削除し、利用明細をしっかりと確認する

【相談窓口】消費生活センター(くらし安全課内)  
TEL 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)  
平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料